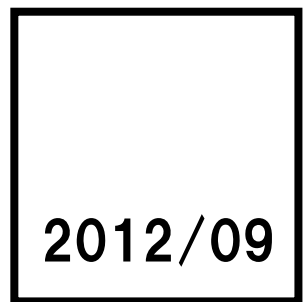




神奈川県立川崎図書館 が所蔵する  
全国有数の〈社史コレクション〉を  
さらに活用していただくため、  
社史の使い方や、社史の楽しさ、  
社史情報などをお届けしていきます。



今回は「夏休みの自由研究」風の調査  
を試してみました。

●  
社史のタイトルは『??社〇〇年史』  
などとなっていることが多いのですが、  
「〇〇年」が一番古いのはどの社史でし  
ょうか。

日本で一番古い会社は、578年に創  
業した大阪の建築会社、金剛組といわれ  
ています。残念ながら『金剛組〇〇年史』  
は当館では所蔵していません。もし刊行  
されているのであれば「一番長い歴史を  
記した社史」として認定されるのかもし  
れません。

# まずは「長い社史」を調べてみます。

それでは、さっそく社史室の書架を探  
していきましょう。

五百年越えには、饅頭でおなじみ塩瀬  
総本家の『塩瀬六百五十年のあゆみ』  
(1996年刊)、羊羹でおなじみ『虎屋の五  
世紀』(2003年刊)と、和菓子の社史が二  
冊ありました。

四百年越えには、静岡県発祥の『養命  
酒400年記念誌』(2002年刊)、近江商  
人に始まる寝具等の『西川400年』  
(1968年刊)、塩を商って武田信玄から屋  
号を許された山梨県の『吉字屋四百二十  
七年の歩み』(1996年刊)、石川県で酒蔵  
業を経て薬局を営む『加賀鶴来 米屋四百

年』(1999年刊)、寺社建設の『松井建設  
四百年のあゆみ』(1989年刊)がありま  
した。

三百五十年越えは、京都・伏見の酒造  
メーカー『月桂冠三百六十年史』(1988  
年刊)、京都で仏教書を刊行する法蔵館の  
『仏教書出版三六〇年』(1978年刊)、名  
古屋で塩問屋をしていた『名塩小史 食品  
350年史』(1965年刊)、八丁味噌の『カ  
クキュー山越え谷越え350年』(2000  
年刊行)、江戸の紙問屋として始まった  
『小津三百五十年のあゆみ』(2004年刊)  
がありました。

以上のように関西・中部地方の会社が  
大半でした。関東は江戸幕府の開府、そ  
して産業・商業の発展・成熟まで、しば  
らく時を要したのでしょうか。(裏面へ)

(表面から)

これらは書名に「〇〇年」と明記されているものだけです。創業をどの時点とするのかは各社で違います。書名の「〇〇年」は長くても、社史の内容は、近年の歴史を中心に書かれたものもありません。さらに、ざっと見ただけなので、失礼ながら見落としも多々あるかと思えます(すみません…)

書架を見ていくと、二百年史、三百年史といった社史もたくさん目に付きました。こんなに老舗企業が多いのは、世界的に日本だけだといえます。(久保田章一『百年企業生き残るヒント』/角川SSC新書など)。

きちんと会社の歴史を記録して、次の世代に引き継ごうという姿勢も、長寿企業の秘訣かもしれませんね。

次に、重い社史を調べてみます。社会への役割や責任が重い…といった真面目なものではなく、一冊の重量です。

## つぎに「重い社史」を調べました。

社史室の書架から、見た目が重そうな社史を量っていきましました。分冊になっているものは、まとめて量らず一冊を対象にしました。全冊をきちんと量ったわけではないので、本当に一番重い社史とは断定できませんが、結果発表します。

4位は 4.18kg 『石川島重工業108年史』(1961年刊)、3位は 4.19kg 『野村證券株式会社50年史』(1976年刊)、2位は 4.51kg 『先達に学ぶ 電源開発株式会社工務部門技術史』(1998年刊)、そして1位は『東京急行電鉄50年史』(1973年刊)で、重さは4.64kgでした。いずれも千ページ以上の大作です。

「今度、社史を作りましたので…」と手渡しするのも大変でしょうね。

「重さを調べて何の意味があるの?」と言われると答えに窮しますが、こちらの調査は、いかにも自由研究といった感じで楽しく計量できました。

ちなみに新書一冊は約150gです。

(科学情報課 高田)

**【速報!】社史ができるまでシリーズを開催します。**

初夏に行って好評だった『日本水産百年史』『内田洋行百年史』に続き、

第3弾は『日清食品 50年史』ができるまで~そして、カップヌードルミュージアムへ。インパクトNo.1の装丁はどうやって生まれたのか、11月1日(木)の14時から15時30分です。

第4弾は、みんなで選ぶ社史グランプリで最多得票を獲得した『アサヒビールの120年 その感動を、わかちあう。』ができるまで。11月16日(金)の14時30分から16時です。

いずれも9月中には詳細発表、申し込み開始の予定です。お待ちください。

●お問い合わせ先

神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話:044-233-4537 FAX:044-210-1146

<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>